

# きれいな山梨

No.51 JULY 2010

環境パートナーシップやまなしは、県民・事業者・行政のパートナーシップ（協働）のもと、団体間の連携や情報交換の場づくりなどを通じて、自主的な環境保全活動を積極的に展開していくことを目的として様々な活動を行っています。  
環境保全に関する活動を積極的に行っている団体、個人のみなさまのご入会をお待ちしています。

## 環境パートナーシップやまなし

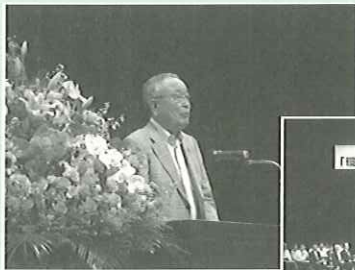
事務局 ● 〒400-8501 山梨県甲府市丸の内1丁目6-1 山梨県環境創造課内  
TEL.055-223-1506 FAX.055-223-1507 ✉ kankyo-sozo@pref.yamanashi.lg.jp  
URL <http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/partnership.html>



古紙配合率100%再生紙を使用しています

発行責任者 ● 広報専門部会長 神宮寺 聡

## 平成22年度定期総会を開催



平成22年度定期総会を、6月5日(土)、甲府市総合市民会館で開催しました。

開会にあたり、宮川会長からあいさつがあり、来賓の山梨県中楯森林環境部長からご祝辞をいただきました。

議事では、平成21年度事業報告・収支決算報告、平成22年度事業計画・収支予算について原案どおり承認されました。

## 役員・企画委員

会 長	宮 川 睦 武	山梨県中小企業団体中央会			
副 会 長	大 澤 英 二	山梨県ボランティア協会	野 口 英 一	勸 富 士 山 を き れ い に す る 会	
	天 野 英 一	山梨県PTA協議会	渡 辺 一 彦	日 本 労 働 組 合 総 連 合 会 山 梨 県 連 合 会	
	廣 瀬 久 信	山梨県農業協同組合中央会	渡 辺 恭 史	山 梨 県 商 工 会 議 所 連 合 会	
監 事	浅 野 正 一	山梨県建設業協会	辻 一 幸	山 梨 県 林 業 団 体 協 議 会	
企 画 委 員					
(広報専門部会)	長 田 孝 夫	山梨県商工会連合会	田 中 収	山梨県自然保護教育振興会	
	山 田 紀 彦	山梨県私立中学高等学校連合会	齋 藤 紳 悟	山梨県私立幼稚園協会	
	神 宮 寺 聡	山梨県労働者福祉協会			
(3R推進・温暖化対策専門部会)	伊 藤 祐 寛	山梨県専修学校各種学校協会	依 田 茂 己	山梨県青少年団体連絡協議会	
	飯 窪 さ か	山梨県女性団体協議会	平 山 俊 夫	山梨県老人クラブ連合会	
	高 橋 勇	山梨県システム山梨	進 藤 久 雄	環境に関する企業連絡協議会	
	岡 尚 志	学 識 経 験 者	黒 田 光 秀	学 識 経 験 者	
	仲 澤 早 苗	山梨県消費生活研究会連絡協議会	村 松 初 枝	山梨県生活研究グループ連絡協議会	

## 「環境フォーラムinやまなし」を開催しました 県森林環境部

環境パートナーシップやまなし定期総会の後、同会場にて環境フォーラムを開催しました。

環境フォーラムでは、県環境保全功績者表彰を行うとともに、テレビなどで有名なルー大柴氏を招き、「MOTTAINAIも考えよう～人生マウンテンありバレーあり～」と題し、ご自身の生い立ちやエコライフについて、参考になるお話を聞かせていただきました。英語がちりばめられた熱い語り口で、会場には笑いがたえませんでした。



# 平成22年度事業計画

## 1. 活動情報の交換及びネットワークづくりのための事業

- (1) 広報誌の発行
  - ・会員向けの会報的なものとし、年4回の発行を基本とします。
  - ・会員相互のパートナーシップを深めるため、本会の活動計画や活動報告を掲載します。
  - ・会員紹介や会員の特徴のある活動をPRし、環境活動を広めていきます。
- (2) 会員の募集
  - ・会員の拡大(募集)を図るため、効果的な広報活動を行います。
- (3) ネットワークづくりのための調査・研究
  - ・会員のネットワーク化及び主体的な事業参画に向けての研究を行います。

## 2. 3R・温暖化防止対策実践活動推進のための事業

- ・ごみ減量化に向けたお絵かきコンテストの開催  
 県内の幼稚(保育)園児や小学生、中学生を対象として、マイバッグ、マイはし、マイボトルを題材とした「お絵かきコンテスト」を開催することにより、子供たちを巻き込んだ普及啓発活動を展開し、3Rの推進を図ります。
- ・3R推進、地球温暖化防止に関するワークショップの開催  
 県民への意識の定着化を進めるため、関係団体に働きかけ、エコライフの普及や地球温暖化防止に関するワークショップを開催します。
- ・「県民の日」記念行事におけるごみ減量化運動  
 「県民の日」記念行事がごみの出ないイベントとなるよう、ごみの持ち帰り運動を実施します。
- ・環境に関するイベント等の実施  
 「県民の日」等のイベントにおいて「環境パートナーシップやまなし」のブースを設置し、各団体が取り組んでいる活動を紹介します。

## 3. その他

- ・県事業との協働及び民間活動団体に対する後援等によるネットワークの拡充  
 「エコライフ県民運動」、「やまなしクリーンキャンペーン」、「ボランティア月間」などに積極的に参画し、実践活動を行っていきます。

# マイバッグ・マイはし・マイボトル お絵かきコンテスト2010

環境パートナーシップやまなしでは、これまでのマイバッグに加え、マイはし、マイボトルも対象としたお絵かきコンテストを実施します。このコンテストは、県内の保育所、幼稚園、小学校、中学校の園児や児童、生徒から「マイバッグ・マイはし・マイボトル」に関する絵を募集することにより、その製作過程を通じてライフスタイルを見直し、環境にやさしい暮らし方をしてもらうことを目的としています。賞品を多数用意していますので、会員の皆様のお子様などにもふるって応募いただきますようご協力をお願いします。

**応募方法** 専用の応募用紙(コピー可)にマイバッグ、マイはし、マイボトルに関する図柄を一つ以上題材とした絵をご自由にお描きいただき、80円切手を貼り、ポストに投函してください。

応募用紙は、環境パートナーシップやまなしホームページでダウンロードできます。

<http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/partnership.html>

**応募メ** 平成22年9月7日(火)【当日消印有効】  
**切** 審査結果は、10月上旬に環境パートナーシップやまなし  
**発** のホームページに掲載します。

また、11月13、14日に小瀬スポーツ公園で開催される「県民の日記念行事」で入賞者の表彰を行ない、賞品を贈呈します。

**応募先・問** 〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1  
**い** 環境パートナーシップやまなし事務局(県環境創造課内)  
**合** TEL 055-223-1506  
**わ**



# やまなしエコライフ県民運動

～はじめようエコライフ!CO<sub>2</sub>ゼロやまなしをめざして～

地球温暖化防止や循環型社会実現のためには、私たち一人ひとりが環境にやさしい生活行動を選択することにより、社会全体の仕組みを変えていくことが大切です。エコライフ県民運動は、みなさんが日々のくらしの中でエコ活動を実行することにより、環境にやさしい社会「CO<sub>2</sub>ゼロやまなし」を実現していく運動です。

## 7つの運動～レインボーアクション～

1

### マイバッグ運動

- レジ袋など使い捨ての買い物袋を削減するため、お買い物に行くときには、マイバッグやマイバスケットを持って行きましょう。
- 不要なレジ袋は断りましょう。

2

### マイはし運動

- 割りばしなどの使い捨て用品を削減するため、外食時やお弁当を食べる際には、マイはしを利用しましょう。
- リユースはし(繰り返し使えるはし)を使用する飲食店を積極的に利用しましょう。
- 家で食べるお弁当を買う時など、不要な割りばしはもらわないようにしましょう。

3

### マイボトル運動

- ペットボトルや紙コップなどの飲料容器を削減するため、外出時にはマイボトル(水筒や飲料ボトル等)を携帯しましょう。
- マイボトルに飲み物を販売する飲食店を積極的に利用しましょう。

4

### リユースびん運動

- 環境負荷の少ないリユースびんの利用を推進するため、一升びんやビールびんなど繰り返し使えるリユースびん入りの商品を購入しましょう。
- リユースびんの空きびんは販売店などに返しましょう。

5

### エコドライブ運動

- 自動車から排出される二酸化炭素を削減するため、「ふんわりアクセル」「加減速の少ない運転」「早めのアクセルオフ」「アイドリングストップ」など環境にやさしいエコドライブを実践しましょう。

6

### 緑のカーテン運動

- 夏場の冷房時等に排出される二酸化炭素を削減するため、アサガオやゴーヤなどのつる性植物を窓辺や壁面にカーテン状に育て、エアコンの使用をひかえましょう。

7

### 環境家計簿運動

- 家庭で消費されるエネルギーの記録をとり、排出される二酸化炭素の量を計算して、その削減に努めましょう。
- ※平成22年度版環境家計簿を配布しています。ご希望の方は環境創造課までご連絡願います。

### 参加団体及び推進店を募集しています。

7つのレインボーアクションのうち、1つ以上の運動に取り組む山梨県内の企業、グループなどの団体と、1～6の運動を支援していただけの推進店を募集しています。

詳しくは環境創造課までお問い合わせ願います。



<お問い合わせ>

山梨県森林環境部環境創造課 電話 055-223-1506

住所 400-8501 甲府市丸の内1-6-1

ホームページ<http://www.pref.yamanashi.jp/kankyo-sozo/ecolife.html>

# もったいない野菜の収穫体験レポート「レタス編」

フードバンク山梨 米山けい子

HP : www.fbyama.com

フードバンク山梨では、賞味期限内でまだ安全に食べられるにも関わらず、印字のミスなどで販売できない商品を寄贈してもらい、必要としている施設や団体に無償でお渡しする活動を行っています。

今回は農業生産者との連携でもったいない野菜の収穫体験を行いました。今年5月に北杜市高根町にある梶原農場より連絡があり、規格外で出荷出来ないレタスを寄贈いただけるとの事で、早速収穫に伺いました。

予定が急だったにも関わらず、29名の方が参加してくださり、レタス・サニーレタス・グリーンレタスなどおよそ200kgのレタスを収穫することが出来ました。収穫したレタスはまだまだおいしく食べられるものばかりで、9施設に配布し、大変喜ばれました。



収穫したレタス

また、梶原農場の野菜は有機栽培を行っているという事もあり、とても安全で安心です。参加した児童養護施設の子供たちは収穫とともにカエルやトカゲ、テントウムシなどを見つけて大興奮でした。とても良い体験になったようです。



収穫の様子



レタス畑の様子

## 会員リレートーフ Vol.12

## 地域での「バイオディーゼル燃料事業の取組み

生活協同組合パルシステム山梨 志村 宏司

生活協同組合パルシステム山梨では、エネルギーの地産地消、資源循環型社会づくりをめざし2003年度よりバイオディーゼル燃料事業を行っています。

この取組みは当初から地域での展開を掲げ、コラボレーションで事業を進めていることが特徴です。バイオディーゼル燃料事業は、回収や利用など多くの場面で、地域住民や行政・企業・団体が主体的に関わることが出来るという、他にはない意義があります。

一方でCO<sub>2</sub>の削減の取組みは、昨今さらに重要性が増しています。パルシステム山梨でも二酸化炭素の総量削減に向けた地球温暖化防止自主行動計画を策定しています。また県の「温室効果ガス排出抑制計画事業者」にも自主的に登録しています。

私たちの事業では、食品等の宅配で車両燃料として排出するCO<sub>2</sub>が大きな割合を占めています。

そこでパルシステム山梨でも、配送のトラックにCO<sub>2</sub>カウントがゼロであるバイオディーゼル燃料を積極的に使用しています。2009年度は20台の車輛に合計53,432ℓを給油、軽油換算で140,205kg-CO<sub>2</sub>の二酸化炭素を削減する事ができました。



燃料精製プラント前にて

2010年4月からは株式会社トーレイとのコラボレーション事業として、さらに地域にオープンな事業として進めていきたいと考えています。ぜひ皆様も回収や利用にご参加いただき、山梨で循環するエネルギーでCO<sub>2</sub>を削減する、このバイオディーゼル燃料事業を一緒に育ててください。



バイオディーゼル燃料使用車

パルシステム山梨ホームページ・天ぶら油でディーゼル車を走らせよう!

<http://www.palsystem-yamanashi.coop/bdf/>

## ●投稿募集中

### 【会員紹介コーナー】

①スペースはA5判程度で、原稿と写真等を入れて構成してください。②団体等の名称、所在地（事務局または事務所等）、連絡先を必ずお書きください。③内容は、活動紹介やPRなど自由です。④締め切りは特にありません。

### 【行事予定】

○団体名、日時、場所、内容、申込み方法、連絡先等です。